

平成25年度 小千谷市理科部 活動報告

部長 伊藤 純子

1 研究活動の方針

小千谷市の学校教育におけるスローガン「心豊かにたくましく生きる小千谷の子ども」の具現を目指し、資質能力を高め合い、指導力の向上に努めている。

2 研究活動の概要

(1) 市小教研理科部会

小学校は国語・社会・算数・理科の4部会に、市内全教員が所属して年2回の部会をもった。

3 研究活動の実際

(1) 第1回理科部会 4月23日(火)

(2) 第2回理科部会 8月22日(木)

○教育課程伝達講習 (南小学校 大冨和昭教諭)

(東小千谷小学校の高橋雅史先生の理論実践をもとに伝達)

- ・理科の本質は①自然に親しむ体験活動を確保する。②問題解決の過程を通して、科学的な見方や考え方を養うことである。
- ・理科教育の今日的な課題は①「自ら問題を見いだす」問題解決の過程を大切にした学習の推進。②「自ら問題を見いだす」ための指導法。③観察、実験技能の確実な定着である。
- ・理科においても言語活動の充実を図っていく。
- ・質の高い授業(問題解決をしっかりと行うための5つの要素)は次の5つ。
 - ① 子どもたち全員が参加する授業作り
 - ② 多様な予想、気づきが生まれる発問の工夫
 - ③ 対話を仕組む工夫
 - ④ 共有の場の設定(実験結果の共有化→規則性)
 - ⑤ 探究の保障(体験、思考、操作技能、等)

・平成24年度の全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果から、新潟県の理科学習は全国平均に比べて肯定的評価が高い。今後も継続した実践を期待したい。

○研修Ⅰ 教材紹介 (小千谷小学校 平澤林太郎教諭)

・自作教材や、小千谷小学校の理科室にある教材を活用しながら、科学的思考力を高める実践例が紹介された。

○研修Ⅱ 学年別の教材研究

<3年>

- ・2学期実施の単元の教材研究
- ・書画カメラの活用の紹介
- ・モンシロチョウの卵の確保→安心して卵探しの活動を組める実践紹介

<4年>

- ・「ひとのからだのつくり」の教材づくり
- ・「電気のはたらき」と「人の体のつくりと運動」の教材研究と単元作り
- ・デジタル教材の有効な使い方。

<5年>

- ・2学期実施の単元の教材研究
- ・流れる水の働きの単元で、学びに有効な見学場所の情報交換
- ・デジタル教材の有効な使い方

<6年>

- ・2学期実施の単元構成の研修
- ・「てこのさおばかり」教材づくり
- ・教材を工夫した、問題解決学習

